

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和3年5月27日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立長南中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 55人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語及び数学。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

・全国や大阪府では正答率が最も多いのは10問だが、本校では9問であった。また、分布状況は分散しているが、中間層の割合が最も多くなっている。

平均正答率（本校 56／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 64.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>○話し合いの話題や方向を捉えたり、それにともなって話す内容を考えたりする問題に課題がある。</p> <p>1一 話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する。 (76.4/89.7)</p> <p>1三 参加者の誰がそのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く。(29.1/57.1)</p> <p>○質問の意図を捉えること問題について、概ねできている。</p> <p>1二話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。(87.3/92.5)</p> <p>○語句や文の使い方、段落相互の関係に関する問題に課題がある。</p> <p>2一 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。(20.0/24.8)</p> <p>3一 文脈の中における語句の意味を理解する。 (34.5/43.7)</p>	<p>○文章の構成の工夫を考えたり、相手に効果的に伝わるように書いたりする問題に課題がある。</p> <p>2二 意見文の下書きの構成の工夫について自分の考えを書く。(54.5/74.5)</p> <p>4四 事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く。(67.3/71.9)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ問題に課題がある。</p> <p>3四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。(1.8/20.5)</p> <p>○文脈に則して漢字を正しく読むことが概ねできている。</p> <p>4一① 漢字を読む（伸ばして）(98.2/97.5)</p> <p>4一② 漢字を読む（詳細）(89.1/88.8)</p> <p>○相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。</p> <p>4三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する。 (38.2/40.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	81.9	60.8	○	21.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	89.1	80.1	◇	9.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96.4	88.7	◇	7.7
国語の授業では、言葉の特徴や使いについての知識を理解したり使ったりしていますか	95.6	81.1	○	14.5
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	81.9	61.3	○	20.6
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている	80.0	74.6	◇	5.4

- 記述式の問題については、4問すべて無回答率が高い。とくに、複合的な問題（文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ）では55%を超え、文章を読み解いたことを自分の考えと結び付けることに課題がある。日常的にいろいろな文章を読み、自分の考えを書く活動を継続していきたい。
- 「漢字を正しく読む」に関しては全国平均を若干ではあるが上回っており、3年間継続して行ってきた漢字小テストの成果が表れていると考える。
- 「国語の勉強が好きですか」や「国語の授業の内容はよくわかりますか」の項目は全国平均を上回っている。本校の研究テーマでもある「できたを実感する全員参加の授業デザイン」や「主体的・対話的な深い学び」を追求することで、生徒一人ひとりが輝く場面をつくることができているように思える。今後も意欲的に学べる授業・教材づくりを続けていきたい。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

・全国や大阪府では正答率が最も多いのは11問だが、本校では10問であった。また、分布状況は分散しているものの、上位層より下位層が多くなっている。

平均正答率（本校 45／泉佐野市 52／大阪府 56／全国 57.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>○ 基礎の定着に課題がある。 1 $(5x+6y) - (3x-2y)$ を計算する (61.8/77.1)</p> <p>○ 関係性を理解し、式で表すことに課題がある。 2 数量の関係を一元一次方程式で表す (58.2/71.3)</p> <p>○ 関数の意味を理解し、表現することに課題がある。 4 経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する (30.9/48.0)</p> <p>○ 与えられたデータから中央値を求めることが概ねできている。 5 反復横とびの記録の中央値を求める (81.8/84.5)</p> <p>○ 与えられた問題から、式を組み立て、説明することに課題がある。 6 (1) 四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く (69.1/83.9) 6 (2) 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する (50.9/61.8) 6 (3) 「四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する (20.0/30.3)</p>	<p>○ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取るとは概ねできている。 7 (1) 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める (85.5/93.5)</p> <p>○ 表やグラフから情報を読み取り、表やグラフを用いて問題解決の方法を説明することに課題がある。 7 (2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する (21.8/27.7)</p> <p>○ 表から必要な事柄を読み取り、データの傾向を捉え、理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 8 (1) 気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く (56.4/83.0) 8 (2) 2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ (25.5/36.8) 8 (3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する (3.6/11.1)</p> <p>○ 図形について、条件や関係性を理解し、性質を数学的に説明することに課題がある。 9 (1) 四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する (32.7/44.3) 9 (2) 錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す (40.0/64.3) 9 (3) $\angle ARG$や$\angle ASG$の大きさについていつでもいえることを書く (10.9/28.8)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は大切だと思いますか	92.7	84.1	◇	8.6
数学の授業の内容はよく分かりますか	85.4	74.6	○	10.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.9	74.6	○	16.3
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	61.8	50.6	○	11.2
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	89.1	75.8	○	13.3

○説明を要する問題や、題意を読み取る問題、表やグラフから傾向を読み取る問題等の無解答率が高く、ことばで表現する力に課題がある。

○ほぼすべての質問に対し、一昨年度より15ポイント程度肯定的解答が上回っている。また、「将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問項目では、25ポイント以上上回っている。数学に対して苦手意識をもっている生徒はいるが、数学を学ぶことは大切であると考えている生徒が多い。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○「朝食を毎日食べていますか」は、全国平均を7.3%下回っている。	○朝食を毎日食べていますか 〈85.5/92.8〉
	○「将来の夢や目標をもっていますか」は、全国平均を15%上回っている。	○将来の夢や目標をもっていますか 〈83.6/68.6〉
	○「自分にはよいところがあると思いますか」は、全国平均を9.3%上回っている。	○自分にはよいところがあると思いますか 〈85.4/76.1〉
	○「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」は、4時間以上と答えた人が全国平均を31.3%上回っている。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 4時間以上 〈63.6/32.3〉
【家庭学習の様子】	○「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」は、3時間以上と答えた人は全国平均を5%下回っている。また、全くしないと答えた人は7.4%上回っている。	○学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 3時間以上 〈7.3/12.3〉 全くしない 〈10.9/3.5〉
	○「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしま	○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしま

	<p>すか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」は、4時間以上と答えた人は8.4%下回っている。また、全くしないと答えた人が全国平均を16.2%上回っている。</p> <p>○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」は、2時間以上と答えた人は全国平均を5.4%上回った。しかし、全くしないと答えた人は全国平均が17.1%上回り、二極化の傾向がある。</p>	<p>勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)</p> <p>4時間以上 <1.8/10.2> 全くしない <23.6/7.4></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p> <p>2時間以上 <10.9/5.5> 全くしない <54.5/37.4></p>
<p>【学校生活の様子】</p>	<p>○「学校に行くのは楽しいと思いますか」は、全国平均を13.4%上回っている。</p> <p>○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」は、全国平均を12.6%上回っている。</p> <p>○「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」は、全国平均が7.6%上回っている。</p>	<p>○学校に行くのは楽しいと思いますか <94.5/81.1></p> <p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか <87.3/74.7></p> <p>○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか <85.4/77.8></p>

本校の取組

◎これまでの取組

○研究授業を継続して行い、教職員全員で授業改革について研修・研究を行っています。本年度からは、「確かな学びを育む学校づくり」の実施校として授業改善に努めています。

- ・〈①「できた」を実感する全員参加の授業デザイン②主体的・対話的で深い学びの探求〉の2つを研究テーマに、研究授業を通じて多くの目で子どもの実態を見るとともに、授業の有効なしかけについて研究討議を行い、教職員間で共通理解を図っています。
- ・本年度は学びに向かう力（主体的に学びに向かう力・自分の考えを伝える力）の育成をめざし、子どもたちの意欲を喚起する工夫をしながら、学習に粘り強くとりくむ姿勢を養うことを目標にしています。
- ・年に2回相互参観月間を実施し、全教職員が、お互いの授業を参観するとりくみを行っています。相互参観シートに記入し、放課後に授業についての協議をしています。

○全教職員が子どもたちの実態を把握し、個別の支援を含めたユニバーサルな授業をめざしています。また、教職員間で授業における共通認識をもてるように、長南中スタンダードを意識した授業にとりくんでいます。

- ・蛍光チョークによる授業のめあての明示
- ・「授業のふりかえり」を実施
- ・本時の流れを黒板に明示
- ・視覚支援をとり入れた「目で見てわかる」授業
- ・黒板周りに掲示物を貼らない等、集中しやすい環境のための教室整備
- ・班やペア活動の充実
- ・授業3分前の入室指導

○授業の中で班活動を積極的にとり入れ、子どもたちの学力保障につなげています。

集団づくりの中心として班活動に重点を置いています。班活動を充実させることで、子どもたちのコミュニケーション力の向上や、ものごとに自主的にとりくむ力の向上をめざしています。また、授業でも班活動をとりにいれており、子どもどうしの交流や言語活動の充実のための機会をつくっています。その他、授業展開に応じて、ペア学習などをとりいれ、充実した授業ができるよう努めています。

○学力向上にむけて、少人数指導・放課後学習・補充学習を効果的に実施しています。

- ・1年生への数学・英語の週1回の7時間目授業の実施
- ・放課後の学習会や長期休業中の補充学習会の実施
- ・定期テスト前の放課後を利用した教科別質問日の実施
- ・手づくりの教材での朝の学習と毎日の宿題の実施

○こ小中合同研を通じた校種間の連携・交流・授業規律の統一をめざしています。

長南校区では、はるかこども園・ひかりこども園・長南小学校・長南中学校で合同研修を年2回行っています。研修で異校種の教職員が交流することで、子どもたちの15年間の育ちを見すえて、各学校園で大事にするポイントを確認しています。活発な意見交流と討論が行われ、長南校区でめざす子ども像についての認識を深めています。

◎これからのとりくみ

- ・市内統一アンケートや社会性測定用尺度等のアンケートを分析・検証し、授業改善に努めていきます。
- ・12月にも相互参観月間を実施し、全教職員が、お互いの授業を参観するとりくみを行います。
- ・引き続き班を集団づくりの中心に据え、支援教育の視点を活かしたユニバーサルな授業をめざします。
- ・「授業改善に資する学びの創造性連続講座」のとりくみとして、2月にも研究授業を実施します。
- ・クロームブックを用いた、個別最適化の学びを実施していきます。